

平成30年度病害虫発生予察情報

特殊報第1号

平成30年6月28日
発表：福島県病害虫防除所

病害虫名 和名：トルコギキョウ斑点病
学名：*Pseudocercospora eustomatis*(Peck)U.Braun

1 発生経過

平成30年6月に、浜通りの施設トルコギキョウにおいて、葉に黒褐色ですず状の病斑を生じる病害が確認された。病害虫防除所で県内の発生状況を調査したところ、同様の病害と思われるものが浜通り及び会津の数ほ場で確認された。

罹病株を採取し、農林水産省横浜植物防疫所に同定を依頼したところ、本県未発生のトルコギキョウ斑点病であることが判明した。

なお、本病は平成20年6月に福岡県で初めて確認され、九州（大分、熊本、宮崎、長崎）や沖縄、四国（高知）、中国（広島）、近畿（和歌山）で特殊報が発表されている。

2 病徴

はじめ、葉に5~10mmの退緑斑が生じ（写真1）、その後黒褐色のすず状の病斑となり（写真2）、病斑上には分生胞子が形成される。病斑は下位葉を中心に発生するが、蔓延すると上位葉へと伸展する（写真3）。葉の表、裏の両面に発生する（写真4、5）。

3 病原菌の特徴

罹病葉上の分生胞子は単生・淡オリーブ色で円筒形~倒根棒状、基部は円錐状に細まり、裁断状、大きさは25.0-71.3 μ m \times 2.5-7.5 μ m、隔壁を有し、隔壁部分はややくびれる（写真6）。

4 防除対策

本病に対する登録薬剤はないため、以下の対策を実施する。

- (1) 多湿条件で発生するため、ハウス内の湿度を下げるために換気を十分に行う。
- (2) 発病が認められた場合、発病部位を切除してほ場外に持ち出し、土中に埋設するなど適切に処分する。



写真1：斑点病の初期症状（退緑斑の中心部に灰色の分生胞子が形成されている）



写真2 ほ場での発生の様子



写真3 上位葉まで伸展した株

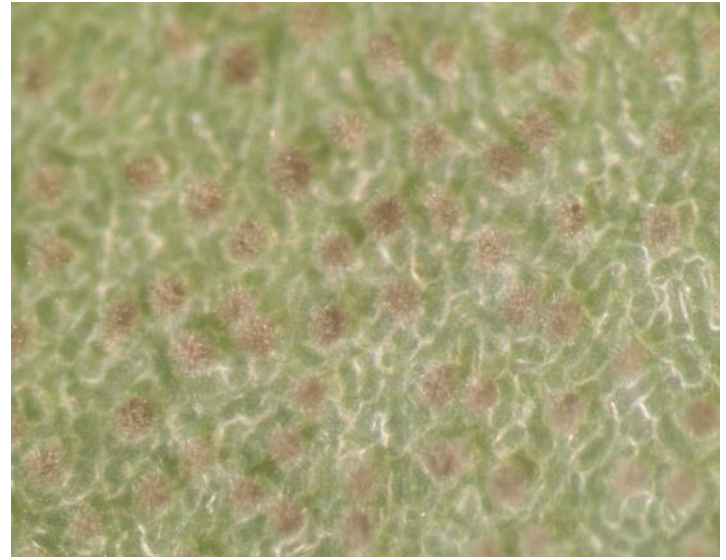


写真4：葉表の病斑部分の拡大(分生子座)



写真5：葉裏の病斑



写真6 斑点病の分生孢子

病害虫発生予察情報ホームページにも掲載されています。 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>
問い合わせ先：福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）
TEL：024-958-1709 FAX：024-958-1727 e-mail：yosatsu@pref.fukushima.lg.jp